

利益相反審査番号	
利益相反審査結果	

倫 理 審 査 申 請 書

平成 27 年 7 月 1 日

川崎医科大学・同附属病院
倫理委員会委員長 殿

申 請 者 (主任研究者)
所 属 附属病院 13 階東病棟
職 名 看護師
受講番号 第 15-0953 号
氏 名 米倉 枝里 印

※受付番号 2147

	所属長氏名	伊藤 由加 印
1 審査種別	<input checked="" type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 計画変更
2・審査区分：A~F の該当する事項全てに <input checked="" type="checkbox"/> をして下さい。		
<input checked="" type="checkbox"/> A. 人を対象とする医学系研究		
(<input checked="" type="checkbox"/> 前向き <input type="checkbox"/> 後ろ向き <input checked="" type="checkbox"/> 侵襲無 <input type="checkbox"/> 軽微な侵襲有 <input type="checkbox"/> 侵襲有 <input checked="" type="checkbox"/> 介入無 <input type="checkbox"/> 介入有)		
<input type="checkbox"/> B. ヒトゲノム・遺伝子解析研究		
<input type="checkbox"/> C. ヒト幹細胞研究 <input type="checkbox"/> D. 遺伝子治療 <input type="checkbox"/> E. 幹細胞治療 <input type="checkbox"/> F. その他 ()		
3 厚生労働省未承認の薬剤・機器・その他を使用する (保険適用外検査を含む) : はい ・ <input checked="" type="checkbox"/> いいえ 未承認薬使用「いいえ」の場合：添付文書の投与量、方法などを逸脱 (する <input checked="" type="checkbox"/> しない)		
4 課題名：パートナーシップ・ナーシング・システムを導入後の看護の質の評価		
5 主任研究者：所属 川崎医科大学附属病院 13 階東病棟 職 看護師 氏名 米倉 枝里		
6 分担研究者：所属 川崎医科大学附属病院 13 階東病棟 職 看護師 氏名 道久 明子		
所属 川崎医科大学附属病院 13 階東病棟 職 看護師 氏名 高森 彩織		
所属 川崎医科大学附属病院 13 階東病棟 職 看護師 氏名 長谷川 千奈		
7 研究等の概要：パートナーシップ・ナーシング・システム (以下：PNS) とは 2009 年に福井大学病院が独自に開発した看護方式であり同病院において、「看護師が安全で質の高い看護を共に提供することを目的に、2 人の看護師が良きパートナーとして対等な立場で互いの特性を活かし、相互に補完し協力しあって、その責任と成果を共有する」と定義している。附属病院 13 階東病棟では新人教育をする上で先輩看護師は一人で複数の患者を受け持ち、勤務をしながら新人看護師へ指導を行っており教育のサポートが行き届かない現状があった。また新人看護師は 1 人で患者の看護することに不安を抱いていた。PNS という看護方式を知り教育のサポートを行いながら互いの知識や技術の向上を図るために平成 26 年 10 月 1 日から PNS の導入を開始した。PNS 導入後の看護の質の現状を把握するために開始 1 年後に評価尺度を用いて評価を施行し、今後の看護実践の課題を明らかにして看護の質の向上に繋げるために研究を行うこととした。		
<input checked="" type="checkbox"/> 自施設のみでの自主研究 <input type="checkbox"/> 多施設共同研究 (主施設：)		
8 研究等の対象、実施場所、実施期間： 研究の対象者：PNS 開始から継続して川崎医科大学附属病院 13 階東病棟に所属する看護師 19 名 実施場所：川崎医科大学附属病院 13 階東病棟 実施期間：倫理審査承認日から平成 28 年 3 月末まで		

【注意事項】 申請書の改変は不可。

9 研究等における医学倫理的配慮について

(1) 研究等の対象とする個人の人権擁護

- ・本研究にあたっては、まず倫理審査申請書を提出し、調査の許可を得てから研究を開始する
- ・調査内容は個人名の記載はなく、回収も各自で回収箱に入れてもらうため個人の特定はできない
- ・得られたデータは5年間保管しシュレッダーにかけて処分する

(2) 研究等の対象となる者に理解を求め同意を得る方法

- ・調査用紙は対象者に配布し、回収箱を附属病院 13 階東病棟看護師休憩室に設置して回収する
- ・不参加時は白紙提出または未提出で良い事について書面で説明する
- ・無記名調査用紙のため回収をもって同意とする
- ・回収後の撤回は出来ないこととする

(3) 研究等によって生ずる個人への不利益並びに危険性に対する配慮

- ・無記名調査用紙のため個人の特定はできない
- ・研究に同意しなくても不利益は生じない

(4) そ の 他

- ・本研究の主任研究者、分担研究者は、研究結果に影響を及ぼしかねない資金の受け入れ及び使用はないため、深刻な利益相反の状況にはなっていない
- ・本研究に必要な費用は病棟詰所費を使用する
- ・研究対象者に謝礼・費用負担はない